

## 第16回 文化・産業のまち部会 会議録

1 開催日 平成29年9月19日（火）

2 場所 新見市役所3階 第5委員会室

3 出席状況 出席7名

部会長	森田 寿	出席	副部会長	水地 秀壽	出席
委員	森岡 繁信	出席	委員	今田 一成	出席
委員	三上 雄二	出席	委員	多賀 紀征	欠席
委員	逸見 孝明	出席	委員	田原 裕之	出席

4 事務局出席者

総務部協働推進課 1名

5 傍聴者

なし

6 議事内容

1 開会

2 あいさつ

○部会長挨拶

3 協議

○「農林水産業におけるブランド力の向上」について、意見交換し、まとめを行った。

- ・組織づくりが大事で、「若者」が参加するまちづくりでなければならない。
- ・ブランド品づくりが大事である。そのためには組織化し、市場調査や研究開発に取り組む必要がある。逆転の発想で、米、ピオーネ、千屋牛に新たな特長（価格と糖質を抑えたほんのりとした酸っぱさで健康的なピオーネ、さしと価格を抑えた健康牛肉など）をPRすることも一つの方法である。
- ・千屋牛の数量確保のための「耕畜連携」の取組として、休耕田での飼料栽培を担う「農事組合法人」などの組織化や、新たなブランド商品（ピーマン、菊、白ねぎなど）の開発が大事である。

- ・行政や補助金に頼らないことや、個人でなくグループでやっていくことで市全体への広がりにつなげていくのではないかな。
- ・商品の付加価値を高めることに力を入れること、大都市圏への積極的PRを行うこと、行政・商業・農林水産業に携わる人が、マーケティングなどの研修・学習を受ける機会を作ること、消費者の声をしっかり聴くことなどが大事である。
- ・Iターン者だけでなく、そのまま地元に残る人への支援が大事ではないかな。
- ・新規就農だけでなく、後継者を大切に作る施策が必要である。そのためには、(若者に)「新見」をもっと知ってもらわないといけない。
- ・優れた栽培技術で、統一された規格で一定量生産されること、安全で美味しい食材を使用した料理などを通年提供できる店舗の充実、しっかりとしたPR(JR新見駅、憩いとふれあいの公園への看板設置や、全国からの結節点となるJR岡山駅への案内所や店舗の開設など)が大事である。

提言の方向としては次の4点ということで整理したい。

- ・後継者を育て支援する何らかの方策が必要である。
- ・来訪者へ配れるようなマップ(食事などの紹介)を作成すること。
- ・しっかりしたPRを行うこと。
- ・組織づくりが大事である。(消費者も構成員にすること。)